

平成23年の火災・救急・救助概況



火災

区 分	平成23年	平成22年	増減
火災件数合計(件)	108	110	▲2
建物火災(件)	62	66	▲4
うち住宅火災(件)	45	38	7
林野火災(件)	11	5	6
車両火災(件)	13	11	2
船舶火災(件)	0	0	0
その他の火災(件)	22	28	▲6
死者(人)	5	9	▲4
うち住宅火災(人)	3	7	▲4
負傷者(人)	13	12	1

▲は減少を示します。

平成23年中に市内で発生した火災は108件で、そのうち住宅火災は45件でした。また、火災による死者は5人で、うち住宅火災による死者は3人でした。

本市における住宅用火災警報器の設置率は、平成23年6月時点での推計結果で77.1%となっていますが、火災が発生した住宅では、設置率がかなり低い傾向がみられました。

また住宅火災の原因は、「放火・放火の疑い」、「こんろ」が多く、特に「こんろ」は、そのほとんどが、天ぷら油を使用中にその場を離れたことで出火していました。



救急

区 分	平成23年	平成22年	増減	
出動件数(件)	13,066	12,224	842	
搬送件数(件)	11,999	11,312	687	
搬送人員(人)	12,199	11,530	669	
主な事故種別	急病(件)	7,981	7,409	572
	一般負傷(件)	2,094	1,847	247
	交通(件)	1,344	1,470	▲126

▲は減少を示します。

平成23年中の市内における救急出動件数は13,066件で、前年に比べ842件の増加となり過去最高の出動件数となりました。前年と比較し、急病、一般負傷の増加がみられました。

事故種別でみると、例年同様急病が7,981件で最も多く、次いで一般負傷の2,094件、交通の1,344件の順でした。

また、タクシー代わりとみられる救急事案も散見されることから、救急車の適正利用について御協力をお願いします。



救助

区 分	平成23年	平成22年	増減	
出動件数(件)	116	118	▲2	
活動件数(件)	71	56	15	
救助人員(人)	77	53	24	
主な事故種別	交通事故(件)	75	74	1
	火災(件)	5	7	▲2
	水難事故(件)	8	5	3
	建物等による事故(件)	5	5	0

▲は減少を示します。

平成23年中の市内における救助出動件数は116件で、前年に比べ2件の減少となりました。

事故種別でみると、水難事故が8件と3件の増加となりましたが、その他は減少、または昨年並みで、最も多いのが交通事故の75件で、全体の65%を占めました。

水難の救助件数が増加したのは、夏期の行楽シーズンに水難事故が増加したことが大きな要因でした。また、救助人員は77人でした。